

特別養護老人ホーム りんごの丘



さらなる取り組みで より良い介護を



さらなる取り組みとして今年度より、「介護スマートDXプロジェクト」を立ち上げ「生産性向上」に取り組んでいます。



介護職は限られた人数で専門性の高いサービスを提供しなければなりません。職員がケアに集中でき、いきいき働くことのできる環境を作るため日頃からの業務改善（すなわち生産性向上）は重要です。りんごの丘における生産性向上の取り組みは複合的に行っています。

ノーリフティングケアの取り組み

厚生労働省は、平成25年に「腰痛予防指針」が19年ぶりに改訂され、「人力での抱え上げは原則行わない」という言葉から読み取れるように管理体制を問うものになっています。

医療・福祉の職場における腰痛発生率は全産業の中でも高く、増加傾向にあることから、りんごの丘は職員を守るために積極的に福祉機器の検討を行っています。



介護記録を連携するシステム

ロボット・センサー・ICT

テクノロジーを活用することで、介護の質を維持・向上させることを目的に活用しています。以前より、介護記録ソフトは導入し、パソコン・スマートフォン等行っていましたが、今年度に介護記録ソフトの入れ替えを行い、介護記録とその他が連携できる仕組みを構築しています。



インカム活用で即時情報共有化

例えば、記録はインカムを装着し、話せば記録に反映できるようにしたり、職員間の連絡においても、わざわざ電話で連絡しなくてもインカム装着職員全員に瞬時に連絡がとれたり業務効率（生産性向上）を行っています。また介護ロボットと連携することで、夜間巡視ゼロも実現しています。

こうした取り組みも今後ますます加速させていくことで...

「ご入居者にとって、当たり前な生活ができる場所」
「職員にとって、働きやすくワクワクできる場所」
これらの実現に向け取り組んでいきます。



また今年度は、福岡市が主導している「介護スマートDX」の取り組みにも参加しています。またの機会にご紹介しますね！

福岡市博多区光丘町1丁目2-41 担当：吉尾 ☎ 092-502-7901

そよかぜの会★今日も元気で活動中！

多機能ケアホーム りんごの里



ようこそ！



多機能ケアホームりんごの里へ遊びにきませんか？

- ◆ご利用者様の気持ちを大切にしていながら、いつも思いやる心で支援します。
- ◆住み慣れた地域で自分らしく暮らせるように支援していきます。
- ◆地域と関わりを持ち、支え、支えられる関係を築いていきます。

「訪問」「通い」「泊り」の3つのサービスを組み合わせ、住み慣れた地域で、ご家族様、関係機関と協力して24時間365日切れ目なく高齢者の暮らしを支えています。



ご利用いただける方

福岡市にお住まいの方で、**要支援、要介護**に認定された方。サービスをご利用いただくには、当ホームと契約し、登録していただきます。体験利用がごありますので、お気軽に相談下さい。

福岡市博多区井相田3丁目1-20 担当：足立 ☎092-581-6820



特別養護老人ホーム りんごの家



ユマニチュード実践の道①

前回「そよかぜ通信」ではりんごの家の「ユマニチュード認証に向けた取り組み」をお知らせしました。今回は、その取り組みの一部を報告します。

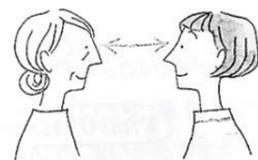
プロジェクト及びアクションチームの組織化

「食事プロジェクト」では、改めてご入所者のそれぞれの嗜好をお聞きして、積極的にイベントを企画しイベントメニューを提供しています♪例えば、毎月1回の郷土メニュー！島根県「えびす丼・ちよこつとぜんざい・青じそきゅうり漬け」。山形県「芋煮・厚焼き卵・おみ漬け昆布・さくらんぼゼリー」。そのほかの季節メニューは、敬老の日「卵焼き・えびの天ぷら・レンコンしいたけなど4種の炊き合わせ・果物他3種」などです。クリスマス・忘年会・正月・節分メニューなども企画しています♪



また、「社会活動アクションチーム」「身体拘束廃止アクションチーム」などを立上げています。（続く）

正面で水平に、瞳を捉えてアイコンタクト



ユマニチュードは「あなたのことを大切に思っています」を伝える認知症介護の技術です。その4つの柱が 1：見る 2：話す 3：触れる 4：立つ です。【今回は（見る）の実践ポイントを紹介します。】

- ◆正面で水平に瞳を捉えてアイコンタクト。
- ◆まずは、会いに来たことを知らせます。
- ◆相手の顔が向いている方から近づきます。



福岡市博多区井相田3丁目8-1 担当：有吉 ☎ 092-592-5765